

大谷中学校
2019入学式

大谷高等学校
2019入学式

OTANIING

大谷の「今」を伝える。「未来」へ繋げる!

2019.6
vol.215



流れを掴みて

学校長 飯山 等

新しい春を迎えて、きみたちはその成長をより確かなものとするために、共に集い合う新たな時と場を持つことになりました。一人では難しいその成長というかけがえのない達成を、一人ひとりがより豊かで確かな事実とするために、新たな友と生き合う時と場を持つ。友の力を受けて、もちろん、きみ自身も友の力となって、そのように相互にはたらき合う時と場を持つのです。

毎日の食事が私を育ててくれます。その食事は、単に車にとつてのガソリンではありません。食物自身が、私と成り、私を保持し、私を日々更新しているのです。数日、数ヶ月の間で、私を構成する組織は代謝しています。食事が消化摂取されて、血や骨になります。私となります。排泄物は役目を果たし終えた昨日の自分です。私は日々更新されている。生きてゆくことのダイナミックな展開に自ずと身が引き締まります。

同じように、私の心も、何を見、聞き、何に触れるかを糧として自らを育てていきます。そして、中高生となったあなたの育て主は、ほかでもないあなた自身です。何を聞き、何を見るか。どのような私として、どのような時と場に身を置くか。どのような声を聴くか、どのような事物を観るか。そして、どのような耳で聴くか、どのような目で観るか、どのような光の下で観るか。

「大切なことは見えない」。サンテグジュペリの『星の王子さま』で出てくる有名な言葉です。本に登場するキツネは言います、「それはね、ものごとはハートで見なくちゃいけないってことなんだ。大切なこ

とは目に見えないからね」。ハートという眼で見る。その時に初めて本当のことが見えてくる、と。

小学校では算数という教科名で、 $8+5=$ 、 $8-5=$ 、 $8\times 5=$ 、 $8\div 5=$ などの四則演算を順に勉強してきました。でも、 $5-8=$ の引き算は、数学と教科の名前が変わる中学まで学びません。なぜなのでしょう。何でもなく出来てしまう小さな数から大きな数を引く引き算。もはや出来なかった自分を実感することもできませんし、 $5-8=-3$ を何の違和感もなく受け容れています。それは、私ができるように成長した証し、広い世界の住人になった証しです。世界が広がるってすてきなことです。皆さんにとって未来の開けは無限です。聞こえてこなかった声が聞こえてくる。見えなかったものが見えてくる。考えられなかったことが考えられるようになる。できなかったことができるようになる。ワクワクしませんか?そのワクワクするあなたの成長は、ここ大谷のみんなが居てくれるから。

そしてそのことの成立に何よりも決定的なのは、きみ自身の主体的・能動的な創造意志であることは言うまでもありません。皆さん一人ひとりのかけがえのない「個」を、この大谷で、《大谷われら》のなかでゆたかに育ててください。そして、「個」が《われら》において育まれることを、同時に《われら》を育む「個」であることを身証してください。《われら》に受容・摂取され、《われら》を摂取・受容し成長してゆく「個」であることを。そして、たゆむことなく成長してきた《われら大谷》であることを、あなたもまた確信し、証明する一人となってほしいと願うことです。大谷という時と場があなたに与えてくれるもの、あなたが獲得するものは無限です。(表題は大谷校歌の一節から)